

あいち農産物生産流通レポート

平成23年11月号

情報サロン		
・「あいちの農林水産フェア」を開催します	(食育推進課)	1
地域トピックス		
・東三河地域のキャベツの生産動向について	(東三河農林水産事務所)	2
東日本情報		
・「浅川芳裕氏、高橋がなり氏」 これからの日本農業を熱く語る	(東京事務所)	3
西日本情報		
・愛知県卸売市場整備計画(第9次)の策定について	(食育推進課)	5
フラワーページ		
・JFIトレードフェアが開催される	(東京事務所)	7
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		8
・名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し		9
花 き		
・切花・鉢花の11月の見通し(県内市場)		21
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2011年8月)		25
関連指数		26

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

「あいちの農林水産フェア」を開催します

県民の皆さんに愛知県の農林水産業や農山漁村の文化に触れ、食育や地産地消について楽しく学んでいただくため、「あいちの農林水産フェア」を開催し、新鮮な県産農林水産物やそれを使った加工食品などを販売します。

今、話題のあいち戦国姫隊も出演する他、様々なイベントや千円以上の買い物をした方に先着順で景品をプレゼントするなど、家族揃って楽しめる内容となっています。

**1 開催日時**

平成23年11月10日(木)～15日(火) 午前10時から午後7時まで
(最終日は、午後5時30分まで)

2 会場

丸栄 8階 大催事場(名古屋市中区栄3-3-1)

3 内容

JAGグループ愛知等による安全・安心な県産農林水産物の紹介と販売

トマト、ぎんなん、れんこん、みかん、シクラメン、洋らん、切り花など

県産農林水産物を活用した加工食品の紹介と販売

県産ミカン等を餡に使ったどらやき(フェア限定商品)、絹姫サーモンのにぎり寿司(フェア限定商品)、三河の郷土食の五平餅、愛知県が誇る八丁味噌や守口漬、全国的に有名な名古屋コーチンの焼き鳥など

県産農林水産物を活用した企画

フラワーウォーク、餅つき、漬物創作料理無料試食、菜種の搾油体験、食育検定、豆腐作り体験、海苔炙り体験、松ぼっくりの工作、なごや産ジェラートコーナー、野崎白菜紹介コーナー、ジビエ試食コーナー、三河の山里紹介コーナー

あいち戦国姫隊の出演(11月13日(日)午後3時～午後3時30分)

4 入場料

無料

5 主催

あいちの農林水産フェア実行委員会

(構成:愛知県、名古屋市、愛知県農業協同組合中央会、愛知県経済農業協同組合連合会)

6 問い合わせ先

愛知県農林水産部食育推進課 消費・食品表示グループ

電話052-954-6434(ダイヤルイン)

東三河地域のキャベツの生産動向について

豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の管内4市のキャベツの年間収穫量は約21万トンで県全体の9割を占めています。豊橋市及び田原市は、昭和43年に通水した豊川用水によって栽培が大いに伸展しました。用水通水前と後の豊橋市及び田原市（旧、田原町、赤羽根町及び渥美町）の作付面積、収穫量を比較すると約2倍に急増しその後も徐々に増加しています。豊川市は、豊川沿い、旧小坂井町地域などで70haほど作付けされていますが、比較的規模が小さく、近年作付面積は減少傾向です。蒲郡市は、畑地が少なく、近年はほとんど作付されていません。（表参照）

全国ベースでみると、キャベツは産地間リレーが明瞭な露地栽培野菜です。東京市場を例にとると、夏から秋（7～10月）にかけては、冷涼な気候を利用した群馬県、岩手県が主産地となっており、冬（11～3月）から春（4～6月）にかけては、温暖な気候の愛知県、神奈川県、千葉県が主産地となっています。東三河地域は冬を中心とした産地であり、12月～4月では全国の6割以上を占めていますが、近年は春夏作としての初夏どりキャベツ（5、6月収穫）が増えており、11月～6月まで長期間安定した出荷ができる産地となっています。

最近では、愛知産ブランドを知らしめるよう県内各産地共通のダンボールを使用したり、生産安定と品質向上を目指す品種の見直し、密植栽培による収穫増、省力・低コスト化のための共同は種機の利用、農薬危害防止の黄色い旗運動、加工・業務用ニーズに対応したパレターナ（通称鉄コン）を活用した出荷、産地をあげてエコファーマーの認定を受け環境に配慮した生産に取り組むなど、時代を先取りした先見性や技術革新など産地のたゆまない努力が結実しています。



収穫間近のほ場と黄色い旗（田原市）

豊橋市の市街地を過ぎ田原市内を車で小一時間走っても辺り一面はキャベツ畑で、この地域が日本一の産地を標榜して当然という実感が湧き上がってきます。広大な地域一帯が緑一色の景色になったのを見ると、心も癒されます。

表 キャベツの作付面積及び収穫量推移

（単位 ha, 百トン）

年	S40～42年		S50～52年		S60～62年		H7～9年		H17～18年		H21年産	
	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量
豊橋市	714	286	1465	558	1643	786	1547	782	2056	926	2020	789
豊川市	261	93	334	114	244	88	113	39	68	26	68	28
蒲郡市	13	4	5	2	3	1	1	-	1	-	-	-
田原市	823	319	1549	701	2022	1057	1970	1084	2419	1316	2573	1280

資料 愛知県農林水産統計年報、H21年産は業務資料

「浅川芳裕氏、高橋がなり氏」これからの日本農業を熱く語る

去る10月13日(木)に、国際農業資材EXPO(AGRITECH)が開催されている幕張メッセ会場内において、「アグリテック特別講演」があり、農業生産者を中心に農業資材の関係者など約400人が参加しました。会場は満席でこの講演に対する関心の高さが伺えました。

講演会の内容としましては、はじめに、(株)農業技術通信社専務取締役 浅川芳裕氏より、「日本の農業と農家を強くするための8つのヒント」と題して講演が行われました。

浅川氏は、雑誌「農業経営者」の副編集長として編集に携わっておられるとともに、ベストセラーとなった「日本は世界5位の農業大国 大嘘だらけの食糧自給率」をはじめ、「日本農業が必ず復活する45の理由」等数多くの本を執筆されています。今回の講演は、著書の内容を踏まえながら、東日本大震災やそれに伴う原発事故で日本人が注視している日本農業のゆくえをTPP参加問題とも絡めて話され、浅川氏の唱える農業の生産性向上による黒字化を進める農家への「個別黒字化優遇制度」や「日本農業成長8策」などを題材に解説されました。

次に、「国立ファーム」(有)代表取締役社長 高橋がなり氏より、「求められる生産物・選ばれる生産者」と題して講演が行われました。高橋氏は、5年前に「国立ファーム」立ち上げ、農業に本格参入しました。それまでは、マスコミ業界に身を置き、テリー伊藤プロデューサーのもとで働き、その後、ビデオ会社の社長を務めていたという変わり種です。

「僕は農業改革の大穴です。」と言いながら、農業に対する自分のビジョンを語られました。現在、国立ファームは、「山形ガールズ農場」、「国立ファームソルトリーフ農場」等の生産から、青果卸会社「国立ファーム有限会社」、野菜レストラン「農家の台所」、八百屋の「農家の台所青果店」等の消費まで一貫して手掛け、入口から出口までの農業改革を目指しているそうです。「も

日本農業成長8策

民間版・市民農園の整備
農家による作物別全国組合の設立
科学技術に立脚した農業ビジネス振興
輸出の促進
検疫体制の強化
農業の国際交渉ができる人材の育成または採用
若手農家の研修制度
海外農場の進出支援

高橋がなり語録

農業を「カッコ良い」と思う価値観の創出
 ・農業をカッコ良くしなければ諸問題は解決しない。
 ・楽しくない仕事がカッコ良くなるはずが無い。
 「ものづくり」は人を喜ばせて、人に評価されてはじめて喜びを感じる。
 日本の農家はクリエイターを目指すべき!

のづくりがカッコ良いと思われる社会」を理念に、消費を見据えての農業改革についてユーモアを交えながら熱く語られました。

また、自分にしか創れないものを創りたいクリエイター農家を応援し、生産者名が付加価値となる生産者ブランドを後押ししたいとのことで、生産者個人を認知させるためのPR活動として、農家に序列を付ける篤農家ランキングや農家ポスター、農家名刺の作成等を積極的に手掛けているとのことです。

農業生産法人の「山形ガールズ農場」は、若い女性ばかりで運営する農場で、メンバーになりたいという女性の求人倍率がなんと10倍という人気の農場です。将来は全国の農家の嫁として活躍できる人材を育成しているとのことです。

今後、「国立ファーム」は、全国の篤農家と連携して全国にオンリーワンの農場を設立していくそうです。



最後に、国立ファームをビジョン無き企業の農業進出と同じにしないでと訴え、高橋がなり氏は、「農業改革の兆しが見えるまでは、全社員が逃げるか、全財産が無くなるまでは逃げません！あと5年ぐらいは観察しててください」と締めくくりました。

講演会の様子

愛知県卸売市場整備計画（第9次）の策定について

食の安全・安心への消費者の関心の高まりや卸売市場外流通の拡大など流通事情の変化に対応するため、平成27年度を目標として、生鮮食品等の卸売市場整備の方針となる愛知県卸売市場整備計画を、平成23年8月31日に策定しました。

この計画は、昭和47年に第1次計画が策定され、今回は第9次計画となります。ここでは、第9次計画の概要を紹介します。

1 目標年度

平成27年度（初年度を平成23年度とする5年間、基準年度：平成20年度）

2 卸売市場の適正な配置の方針

区 分	平成23年4月1日の市場数				整備計画(平成27年度目標)							
					卸売市場法上の区分			整備計画上の区分				
	中央市場	地方市場	規模未満市場	合計	中央市場	地方市場	合計	中核市場	拠点市場	地区市場	産地市場	合計
総合市場	2	4		6	2	7	9	2	7			9
青果市場		22	1	23		11	11		2	9		11
水産物消費地市場		4	1	5		2	2		1	1		2
水産物産地市場		13	4	17		11	11				11	11
食肉市場	1	2		3	1	2	3	2		1		3
花き市場		8	9	17		3	3	2		1		3
合 計	3	53	15	71	3	36	39	6	10	12	11	39

整備計画上の市場区分とその機能

中核市場：県内から隣県に至るまでの需要を担う卸売市場

拠点市場：各品目の流通圏における拠点となる卸売市場

地区市場：中核市場、拠点市場の補完的機能及び地場流通を担う卸売市場

産地市場：水産物を消費地へ出荷するための中継基地として主要漁港に設置する卸売市場

3 近代的な卸売市場の立地並びに施設の種類、規模、配置及び構造に関する指標

- (1) 都市計画等との整合性が確保され、衛生上適切な立地であり、効率的な利用のため必要な施設であること。
- (2) 品質・安全性への消費者の関心やコールドチェーンシステム構築の要望に応えるため、衛生管理施設や低温卸売場等の品質管理の高度化、生産者や実需者のニーズに対応した加工施設等に資する施設の計画的配置や環境問題等の社会的要請に対応する施設の整備に努めること。
- (3) 卸売市場運営及び物流業務の効率化を図るため、ITの活用、生産者や実需者と連携した流通コストの削減等に努めること。

(4) 流通事情の変化に柔軟に対応できる構造とすること。

4 卸売市場における取引及び物品の積卸し、荷さばき、保管等の合理化並びに物品の品質管理の高度化に関する事項

(1) 売買取引は、公正かつ流通効率の高い方法により行うとともに、価格形成の透明性を向上し、公正な取引を推進し、その結果の公開を図ること。

(2) 各市場において十分な議論を行いながら、卸売市場間の連携や消費者ニーズに応える商品づくり等、市場活性化の取組み及び流通の効率化に努めること。

(3) 取引情報の記録を適切に行うとともに、トレーサビリティシステムの確立や食品事故への適切な対応、コンプライアンスの徹底に努めること。

(4) 大規模小売業者等の優越的な地位の濫用により需給以外の要素で価格形成が行われることのないよう、適正な取引環境の形成に努めること。

(5) 市場関係者は、温度管理による生鮮食料品等の鮮度保持、品質管理の責任者の設置等を行い、HACCPの考え方を採り入れた品質管理の高度化に取り組むこと。

5 卸売業者及び仲卸業者の経営の近代化の目標

(1) 卸売業務の適正かつ健全な運営を確保するため、経営規模の拡大及び経営体質の強化を図ることとし、市場内外の状況を踏まえ、合併や営業権の譲受けによる統合大型化、市場を超えた卸売業者間の資本関係の構築や事業提携による連携の強化に努めること。

(2) 仲卸業者等は、合併や営業権の譲受けによる統合大型化に加え、関係事業者間の提携関係の強化を図り、大規模小売業者との対等な取引関係の構築や、経営再編による経営合理化、共同配送等によるコストの削減に努めることとする。

(3) 卸売業者、仲卸業者に共通する事項として、実需者の多様なニーズに対応し、特色ある地場産品や規格外品等の品揃えの強化や予約相対取引の活用による食品加工業者等への定時・定量・定価格による安定的取引への積極的な対応に取り組むとともに、実需者ニーズや産地情報の収集と提供の取組みを強化に努めること。

6 その他卸売市場の整備を図るために必要な事項

(1) 卸売市場全体の経営戦略を確立し、市場関係者が一体となった市場運営の取組を推進する。

(2) 循環型社会への対応や、多様化する消費者ニーズに対応するため、食品廃棄物、包装容器のリサイクルなどの市場関係事業者の環境問題への取組。

(3) 災害時においても業務を継続するための体制整備と食の安全に係る事件・事故が発生した場合における客観的事実や科学的根拠に基づく公正な取引の確保。

(4) 市民と卸売市場との交流を深めるため、「食育」や「花育」のイベント等の開催やより高度で有用な情報の発信やシステムの開発など、市場機能の高度化に努めること。

JFIトレードフェアが開催される

東京都中央卸売市場大田市場花き部の卸売会社フラワーオークションジャパンは、10月21日(金)～10月22日(土)の2日間、商談会「JFIトレードフェア」を市場内で開催しました。

これから本格化する年末年始の商談を控え、全国各地から取引のある生産者や生産者団体、業者などおよそ100社(切り花17ブース、鉢物85ブース、その他8ブース)の出展があり、各社自慢の花きが所狭しと展示されました。

両日とも午前中のセリの合間に多くの買参人等が訪れ、会場内はすれ違いが出来ないほどの盛況でした。この中で、印象に残った2つの出展を紹介します。

まず、一つ目は、サボンドゥフルールという石けん素材で作られたフラワーアレンジメント用の花です。2年ほど前から市場に出回っているようで、フラワーアレンジメント教室では新しいレッスン花材として使われています。その特徴は、「上質な香りがある」、「花の大きさが生花と同じ」、「長く楽しめる(枯れない)」、「安全な製品である」、「花の色が思うように造れる」、「蒸気で花びらを好みの大きさにできる」等です。サボンドゥフルールが数個入ったパッケージはまるで、エディブルフラワーと見間違える状態でした。これからこの素材で新しいフラワーアートの世界がどのように広がっていくのか楽しみです。



サボンドゥフルール

二つ目は、鉢物の大産地、埼玉県大里郡寄居町から出展された中島園芸です。鉢植えで、ぶどう、いちじく、りんご、もも、木の実などの果樹を高級感を持たせて演出したものばかりでした。これら商品のコンセプトは「どこでも育てることができ、収穫の喜びを味わえること」だそうです。当日は、PRとして代表的な果実をジャムにして試食を行っていました。これまで果樹の鉢物はありませんでしたが、食べ方の提案まではなかったことから、価格低迷が続く鉢物に一石を投じる試みとして、今後に注目したいと思います。

JFI (Japan Floral Industry) の略

豊明花き(株)、(株)FAJ など9社で構成する花き卸売グループの名称

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：ぎんなん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
22年実績	67	62 (93%)	1030	1017	愛知 (93%) 熊本 (4%) 鹿児島 (1%)
23年見通し	80		800		
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>県内の主な産地は、稲沢市。台風の影響はあまりなく、今年は例年に比べて、実付きが多く小玉傾向。 品種は藤九郎が主体。 入荷量が多いため、価格は例年より下がる見込み。</p>			<p>これまでは、業務向けが出荷先の50%を占めていたが、景気の低迷により不振となっている。 今後、小袋での出荷を増やし、量販店向けに売り出していくことが望まれる。 それに伴って、量販店での試食宣伝会などを開催していきたい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：カリフラワー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
22年実績	398	30 (8%)	196	189	新潟 (22%) 埼玉 (19%) 茨城 (14%)
23年見通し	410	—	160	—	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>新潟は出荷最盛期を迎え、順調な出荷が見込まれる。夏が暑く、秋の多雨の影響で茨城、埼玉など関東産の入荷が遅れて気味のもの11月に増えてくる。 入荷量は前年をやや上回りで、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>			<p>ブロッコリーの消費拡大の影響もあり、作付面積の減少傾向が続いている。 愛知産は量は少なくなったものの昔からの固定客が多く、品質も高く評価されている。 今後も、日量格差のない安定した出荷が望まれる。とにかくロットを確保し安定出荷をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し

名古屋市中央卸売市場

10月15日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	18年	38,661	152	147	151	160	北海道 32%
	19年	36,831	186	180	178	202	愛知 22%
	20年	36,502	187	176	198	187	茨城 11%
	21年	35,346	173	178	165	177	長野 7%
	22年	34,086	227	227	241	211	
	5カ年平均	36,285	185	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	35,100	194	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道、愛知中心。台風の影響が続いており、長野、東北地方などで大きく被害が出ている。葉物は痛んでいるものが多い。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
だいこん	18年	2,572	48	47	45	53	愛知 67%
	19年	2,607	63	60	59	71	千葉 15%
	20年	2,507	77	75	77	78	青森 6%
	21年	2,382	59	61	60	54	鹿児島 3%
	22年	2,025	110	122	121	86	
	5カ年平均	2,419	70	71	70	68	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	2,300	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は愛知、千葉。北海道、青森は今月で入荷が終了する予定。11月の前半は、台風などの影響で作業に遅れがあったため、入荷が少ない。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は大幅に下回る見込み。							
にんじん	18年	2,529	93	93	90	96	北海道 54%
	19年	2,426	119	114	112	131	愛知 21%
	20年	2,641	102	97	82	101	岐阜 11%
	21年	2,122	113	119	117	103	青森 7%
	22年	2,111	142	132	180	125	
	5カ年平均	2,366	113	110	114	111	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	2,000	160	160	160	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は北海道、愛知。10月前半は、北海道と青森の残量があったが、出荷量が増えなかった。愛知、岐阜では、台風の影響で生育に遅れがみられる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

10月21日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	18年	131,809	162	157	156	173	茨城 21%
	19年	128,380	202	194	196	216	北海道 18%
	20年	121,090	209	201	210	216	千葉 17%
	21年	128,769	182	185	173	190	埼玉 4%
	22年	121,395	252	265	261	231	(愛知産比率 4%)
	5ヵ年平均	126,289	201	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	126,000	200	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心で、土物類は前月に続き北海道からの入荷となる。昨年は夏場の猛暑や豪雨の影響で高値で推移したが、今年は全般的に安定した出荷が見込まれる。</p> <p>全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
だいこん	18年	12,130	39	37	36	44	千葉 59%
	19年	13,613	56	54	52	62	神奈川 14%
	20年	11,611	67	65	70	67	青森 14%
	21年	12,276	52	53	55	47	茨城 4%
	22年	11,872	110	137	120	79	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	12,300	64	69	66	60	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	12,500	85	85	85	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心となる。青森産は遅れ気味で11月の出荷が増える見込み。千葉を中心とした関東産地は作付け増に加え台風の被害も軽微で順調な出荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
にんじん	18年	7,861	87	93	89	80	千葉 37%
	19年	7,834	119	118	120	120	北海道 36%
	20年	7,264	117	104	124	124	青森 10%
	21年	7,887	109	116	114	98	埼玉 5%
	22年	6,989	166	153	175	169	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,567	119	116	123	117	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	7,000	130	125	130	135	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道が終盤となり、千葉を中心とした関東産地からの入荷が本格化する。北海道はシーズン通じて天候に恵まれず若干切り上がりが見込み。千葉は台風等の影響で播き直し等があったが回復傾向。入荷量は前年並が見込まれ、価格は高値の前年を大幅に下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうきさい	18年	3,912	46	40	51	茨城	44%	
	19年	4,115	58	59	54	愛知	38%	
	20年	3,942	64	66	66	長野	16%	
	21年	3,679	51	47	47			
	22年	3,873	89	89	78			
	5カ年平均	3,904	62	66	59	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
	23年見通し	3,700	85	85	80			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は、茨城、愛知。愛知では、高齢化により作付面積が減少している。台風の影響は少ないが、葉痛みが見られる。豊田地域では上旬から、海部、尾張地域では、中旬から出荷が始まる。 入荷量、価格ともに前年をやや下回る見込み。</p>						
		<p>数量 (t) と単価 (円/kg) の推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね2,400tから4,800tの間で変動し、単価は50円/kgから100円/kgの間で変動しています。</p>						
キャベツ	18年	3,485	39	42	34	40	愛知	63%
	19年	3,651	63	59	56	75	茨城	25%
	20年	3,500	99	94	97	107	長野	4%
	21年	3,384	42	46	39	40		
	22年	2,976	155	168	168	126		
	5カ年平均	3,399	77	79	76	76	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	23年見通し	3,200	90	90	90	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は高冷地から、平坦地へ移行し、愛知、茨城が中心。台風や冷え込みの影響で、生育に遅れが見られるが、回復してきている。東三河地域では、年内の早いものに葉痛みが見られる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>						
		<p>数量 (t) と単価 (円/kg) の推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね2,000tから4,500tの間で変動し、単価は75円/kgから150円/kgの間で変動しています。</p>						
ほうれんそう	18年	542	234	204	244	260	愛知	65%
	19年	475	377	315	376	473	岐阜	16%
	20年	396	454	457	452	454	群馬	5%
	21年	448	359	404	267	449	福島	4%
	22年	376	495	479	526	477		
	5カ年平均	447	372	359	361	414	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	23年見通し	400	430	450	400	450		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、岐阜。愛知では、台風や水害の影響はあったが、11月の出荷には間に合いそう。岐阜は11月いっぱいのお荷となる見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						
		<p>数量 (t) と単価 (円/kg) の推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね200tから500tの間で変動し、単価は300円/kgから900円/kgの間で変動しています。2022年6月の単価は375円/kgと記載されています。</p>						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	18年	12,824	26	23	21	34	茨城 84%
	19年	12,779	41	44	41	39	長野 10%
	20年	12,897	45	43	46	47	群馬 3%
	21年	12,751	39	43	38	34	北海道 1%
	22年	13,421	83	97	84	69	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	12,934	47	50	46	45	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し		13,000	55	55	55		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野に代わり茨城からの入荷が中心となる。長野の残量は遅れがずれ込み多い見込み。茨城は台風直後の低温を受け不作で小玉傾向であるが今後の天候次第。入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
キヤベツ	18年	13,394	39	40	35	40	千葉 36%
	19年	12,923	63	56	57	78	愛知 28%
	20年	11,270	93	86	90	107	茨城 14%
	21年	13,888	44	44	43	46	神奈川 6%
	22年	11,324	154	162	170	128	(愛知産比率 28%)
	5ヵ年平均	12,560	75	74	76	77	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し		11,800	75	75	75		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を始めとする関東産地に愛知からの入荷が始まる。近在産地は台風15号の影響もほとんどなく順調な出荷が見込まれる。愛知は台風15号で葉の擦れや根傷み若干発生したが総体では生育順調。入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	18年	2,048	280	256	269	318	群馬 45%
	19年	2,074	371	306	349	493	茨城 15%
	20年	1,749	383	386	383	379	千葉 14%
	21年	1,771	373	456	311	379	埼玉 10%
	22年	1,649	496	503	542	441	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,858	376	374	365	402	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し		1,700	400	420	400	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。群馬は露地物で9月の降雨で遅れた分が11月に入っても順調に出てくる見込み。茨城、千葉、埼玉についても遅れも回復し順調な出荷の見込み。入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	18年	1,302	291	276	304	292	北海道 20%
	19年	1,430	361	346	340	396	富山 12%
	20年	1,441	316	297	320	330	愛知 12%
	21年	1,468	319	338	302	318	新潟 9%
	22年	1,282	394	470	375	370	
	5カ年平均	1,385	336	344	327	341	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,400	330	330	330		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/Kg		
		<p>主な産地は北海道、富山、愛知。富山から北海道にかけては、雪が降り始めるまでの出荷となる見込み。大分では白ネギが中心で、入荷量も潤沢。 入荷量は、前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
しそ	18年	2,123	99	112	74	114	兵庫 47%
	19年	1,898	145	122	127	203	茨城 41%
	20年	1,472	188	163	204	200	愛知 8%
	21年	1,532	131	129	97	180	長崎 2%
	22年	1,496	212	214	219	202	
	5カ年平均	1,704	150	144	138	176	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,600	150	180	150	130	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/Kg		
		<p>主な産地は茨城、兵庫。茨城産は10月下旬までが出荷のピークで、兵庫産は台風の影響で遅れがみられ、11月下旬が出荷のピークとなる。 入荷量は、前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅうり	18年	1,372	209	189	197	246	愛知 26%
	19年	1,298	330	319	378	302	宮崎 20%
	20年	2,316	221	166	233	276	群馬 17%
	21年	1,047	346	311	262	496	高知 12%
	22年	1,100	390	577	325	305	
	5カ年平均	1,427	283	283	271	312	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,100	350	380	350	320	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/Kg		
		<p>主な産地は愛知、宮崎。夏秋ものは抑制栽培が中心だったが、11月上旬で入荷も終わる。その後、中下旬にかけて、愛知と宮崎からの入荷が始まる。 入荷量は、前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	18年	6,019	209	187	216	225	青森 19%
	19年	5,642	291	269	277	327	秋田 12%
	20年	6,155	215	232	192	224	新潟 10%
	21年	5,782	246	252	236	250	茨城 10%
	22年	5,413	337	436	289	295	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	5,802	257	272	240	263	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し		5,600	230	220	230	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森はピークを過ぎ、関東産地からの入荷が本格化してくる。青森は遅れものが11月にずれ込む見込み。新潟は中旬まで潤沢な出荷が見込まれる。茨城の生育は台風15号により葉のスレ等があったが回復に向かっている。入荷量をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
しそ	18年	7,693	88	96	67	104	茨城 64%
	19年	7,446	130	107	118	180	兵庫 12%
	20年	6,149	165	141	180	176	静岡 5%
	21年	6,986	113	109	86	154	香川 4%
	22年	6,558	203	187	224	197	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,966	137	126	131	160	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し		6,600	130	135	130	125	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心。茨城の生育は台風15号以降の一時的な低温で生育遅れが生じたが回復に向かっている。兵庫の生育は概ね順調。香川は定植遅れはあるものの作柄は良好。 入荷量は前年並みで、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅうり	18年	5,195	217	195	202	263	埼玉 35%
	19年	5,068	321	293	365	305	群馬 18%
	20年	4,173	458	563	446	368	宮崎 17%
	21年	4,726	343	292	262	507	茨城 9%
	22年	4,717	385	533	338	316	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,776	339	366	318	349	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し		4,700	340	320	360	340	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地に加えて西南暖地からの入荷が増加してくる。埼玉の生育は台風15号の影響で浸水、樹の疲れがあり生育は遅れ気味で量的には少ない。逆に西南産地は順調。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	18年	611	278	233	285	334	熊本 52%
	19年	580	326	308	309	371	愛知 43%
	20年	490	368	305	430	376	高知 3%
	21年	512	329	292	336	366	徳島 1%
	22年	516	343	321	368	333	
	5ヵ年平均	542	327	290	342	355	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	550	320	320	320	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、熊本、愛知中心。愛知産は三河地域が中心で、生育にやや遅れが見られるものの、入荷は順調。熊本産は台風の影響も少なく順調。 入荷量は、前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ト マ ト	18年	1,039	322	285	319	373	愛知 32%
	19年	862	427	424	342	564	熊本 32%
	20年	790	410	317	445	502	三重 15%
	21年	1,058	219	230	183	259	岐阜 9%
	22年	776	451	456	524	380	
	5ヵ年平均	905	355	334	349	406	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	800	420	450	400	420	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、熊本。10月上旬から冷え込み、色つきが悪く、玉なりもあまり良くないため、年内の出荷量は少ない。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	18年	230	613	572	604	663	愛知 49%
	19年	200	816	790	829	836	熊本 39%
	20年	177	786	587	879	954	和歌山 5%
	21年	276	445	480	442	415	
	22年	213	806	900	895	663	
	5ヵ年平均	219	673	655	705	679	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	220	650	700	650	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、熊本。作付面積は微増している。初期の着果はよくなかったが、今は良好。11月中旬から出荷がピークとなる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	18年	2,760	297	247	298	369	高知 59%
	19年	2,941	286	234	268	396	福岡 15%
	20年	2,329	359	306	394	389	栃木 5%
	21年	2,199	367	309	384	430	群馬 4%
	22年	2,397	372	322	405	391	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	2,525	332	280	344	394	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	2,500	350	350	350		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地にかわり、西南暖地からの入荷が本格化する。高知の生育は順調で前進傾向、安定的な出荷が期待できる。福岡も生育順調。栃木は台風の影響から回復傾向。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ト マ ト	18年	5,778	315	290	299	368	熊本 34%
	19年	4,792	418	388	355	568	千葉 18%
	20年	4,276	419	325	451	513	愛知 15%
	21年	6,321	232	246	191	275	茨城 14%
	22年	4,631	468	470	535	398	(愛知産比率 15%)
	5カ年平均	5,160	358	336	350	412	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	4,800	420	440	420	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地に加え、西南暖地と愛知からの入荷が本格化する。熊本は8月後半の天候不順の影響で着果にバラつきが目立つ。千葉は台風後の低温の影響で出荷は少なめ。愛知は夜温は低いが日射量が多く生育順調。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	18年	1,121	528	497	498	597	愛知 27%
	19年	980	734	702	710	798	熊本 24%
	20年	896	721	535	777	888	千葉 15%
	21年	1,370	408	429	365	438	茨城 8%
	22年	950	801	905	903	627	(愛知産比率 27%)
	5カ年平均	1,063	616	597	622	647	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,140	680	680	680	680	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地と愛知、熊本からの入荷が中心となる。愛知は昨年は猛暑影響で少なくなったが今年は順調な出荷が見込まれる。熊本についても生育は順調である。千葉、茨城につても同様の傾向。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピー	18年	633	193	208	177	196	鹿児島 39%
	19年	523	349	398	317	325	宮崎 37%
	20年	469	326	251	323	428	高知 10%
	21年	465	375	416	345	357	
	22年	479	393	380	418	382	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	514	319	324	307	328	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	470	383	390	380	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は鹿児島、宮崎。茨城産は、震災以降雇用の確保が難しく、高値で推移している。抑制ものは出荷も順調だが、販売価格が厳しい。 入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
ばれい	18年	3,307	94	90	99	92	北海道 93%
	19年	2,931	78	75	81	79	長崎 7%
	20年	3,284	80	77	85	79	愛知 0%
	21年	2,934	107	104	102	117	
	22年	2,812	138	137	152	127	(愛知産比率 0%)
しよ	5カ年平均	3,054	98	96	103	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	2,900	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は北海道、長崎。北海道は産地によって、天候の影響が出ている。11月後半から長崎の入荷が始まる見込みで、生育も順調。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	18年	5,873	74	75	74	74	北海道 91%
	19年	5,636	64	65	62	66	アメリカ 7%
	20年	5,689	65	69	67	61	中国 1%
	21年	5,565	81	85	86	74	兵庫 1%
	22年	5,161	115	100	124	123	
ぎ	5カ年平均	5,585	79	78	82	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	5,300	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は北海道。産地により生育状況にばらつきが見られる。北見では平年通りだが、富良野から札幌地域では、不作となっている。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	18年	2,216	163	182	153	154	茨城 58%
	19年	1,931	330	386	288	309	宮崎 15%
	20年	1,708	319	235	313	427	高知 13%
	21年	1,760	332	437	269	298	鹿児島 9%
	22年	1,653	388	374	418	366	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	1,854	299	317	280	302	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,700	310	320	310	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		茨城に加えて西南暖地からの入荷が始まる。茨城は生育は順調。宮崎は一部で定植遅れがあるものの生育は概ね順調。高知も安定的な作柄で順調な出荷が見込まれる。入荷量は前年並み、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。					
ばいしょ	18年	6,904	107	108	106	107	北海道 98%
	19年	7,583	87	86	88	86	長崎 2%
	20年	7,704	92	90	91	95	(愛知産比率 -%)
	21年	7,281	127	123	127	131	
	22年	7,094	155	154	157	155	
い	5カ年平均	7,313	113	112	113	114	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	6,900	125	125	125	125	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道からの入荷が中心となる。定植遅れ、低温、降雨等の影響で総じて小玉傾向となっているが、空洞化等は少なく正品率が高い。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高騰した前年を大幅に下回るものの堅調な動きとなる見込み。					
たまねぎ	18年	10,065	84	86	83	84	北海道 83%
	19年	10,518	70	69	70	72	米国 12%
	20年	9,728	76	76	76	75	中国 5%
	21年	9,472	100	98	99	103	(愛知産比率 -%)
	22年	10,096	139	135	137	145	
5カ年平均	9,976	94	93	93	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
23年見通し	10,000	90	90	90	90		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		春先まで北海道中心の入荷が続く。早生種から中晩生種へと切り替わる。道内地域によって作柄はまちまちで、一部で雹害にあった産地もあった。総体の入荷量は輸入物の関連もあるが前年並が見込まれ、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	18年	14,496	277	275	274	283	フィリピン 18%
	19年	15,287	233	237	227	235	長野 13%
	20年	13,369	240	227	245	246	静岡 12%
	21年	14,213	209	209	206	213	和歌山 10%
	22年	12,148	271	252	269	290	
	5カ年平均	13,903	245	-	-	-	
	23年見通し	13,700	220	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は長野、静岡、和歌山。りんごは、着果はしているものの、生育はやや遅れ気味。いちごは花芽分化が早く、生育も順調。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
みかん	18年	4,569	273	276	273	268	静岡 31%
	19年	6,193	158	185	147	145	和歌山 20%
	20年	4,624	227	217	231	229	三重 16%
	21年	4,900	159	182	155	145	愛知 14%
	22年	4,365	243	216	253	251	
	5カ年平均	4,930	208	-	-	-	
	23年見通し	4,500	200	200	200	200	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は、静岡、和歌山、三重。表年だが、生理落下が多く、数量は少ない。大玉傾向でL玉中心だが、価格に伸び悩みがある。雨が多かったため、酸味、糖味ともに少なく、味が心配。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
かき	18年	2,934	234	226	239	236	岐阜 58%
	19年	2,756	235	217	249	241	和歌山 17%
	20年	2,716	172	155	184	175	三重 10%
	21年	3,157	171	165	175	173	
	22年	1,821	328	288	326	368	
	5カ年平均	2,677	220	-	-	-	
	23年見通し	2,600	220	240	230	200	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は岐阜、和歌山、三重。台風の影響で落下、すれ、傷が多少見られる。</p> <p>入荷量は、少なかった前年を大幅に上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	18年	49,247	299	283	296	320	愛媛 16%
	19年	53,858	239	245	233	238	熊本 10%
	20年	52,083	243	234	243	251	フィリピン 10%
	21年	52,440	209	208	204	215	山形 10%
	22年	46,796	274	263	271	289	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	50,885	252	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	49,000	260	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん、りんご、かき等が入荷する。りんごは「ふじ」中心で前年を下回る入荷。山形の西洋なしは昨年同様で小玉傾向である。みかん、かきも不作だった昨年を上回るが平年より少ない予想。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回ると見込まれる。</p>					
みか	18年	20,227	284	284	292	291	愛媛 29%
	19年	25,827	169	183	171	159	熊本 19%
	20年	21,844	230	219	235	233	長崎 15%
	21年	23,100	162	173	159	157	佐賀 9%
	22年	20,154	243	222	248	251	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	22,230	207	212	210	206	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	22,000	210	230	220	210	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛媛、熊本、長崎中心に入荷。極早生から早生に切り替わる。表年にあたり、各産地ともに大玉傾向で不作だった昨年を上回る予想。愛媛産は玉肥大も良好で中旬から入荷量がまとまってくる。 入荷量は不作だった前年をかなり上回り価格は前年をかなり下回ると見込まれる。</p>					
かき	18年	7,275	266	255	265	289	新潟 20%
	19年	8,170	236	242	233	229	奈良 16%
	20年	8,751	187	184	186	192	和歌山 12%
	21年	7,825	194	183	196	207	福岡 10%
	22年	6,491	327	310	327	356	(愛知産比率 10%)
	5ヵ年平均	7,702	237	231	237	249	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	7,300	260	280	260	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>「平核無」は新潟、「富有」は奈良、福岡、岐阜から入荷する。新潟産は肥大良好で上中旬に入荷が多い。奈良産は生理落果が多く小玉傾向。和歌山産は上旬までが出荷のピークであるが小玉傾向である。 入荷量は不作だった前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回ると見込まれる。</p>					

切花・鉢花の11月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 10月21日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	19年	3,349	39	
		20年	2,170	63	
		21年	2,339	51	
		22年	1,498	56	
		4ヶ年平均	2,339	50	
	23年見通し	1,800	50		
概要	愛知、三重、沖縄等から入荷。11月に入ると品種の切り替わりが完全に行われる。「神馬」をはじめ「精興の誠」「晃花の富士」などが中心。「精の一世」「特馬」「奇の空」は若干ではあるが出荷される。沖縄産は10日あたりから白、黄ともに入荷予定。一部台風の影響はあるものの、出荷は昨年並み。作柄も特に問題ない。				
小 ぎ	実 績	19年	1,540	14	
		20年	1,087	26	
		21年	1,303	22	
		22年	607	26	
		4ヶ年平均	1,134	21	
	23年見通し	730	24		
概要	愛知を中心に奈良、静岡、沖縄から入荷。暖地作（地物）は10月物が遅れたことでやや多めの出荷となる。しかし、高冷地産が完全に終わり、今後はあまり多くない状況となる。沖縄産が始まるまでは入荷量は少なめで推移、沖縄産は11月中旬以降からの出荷。				
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	19年	1,938	20	
		20年	1,074	34	
		21年	1,300	27	
		22年	892	39	
		4ヶ年平均	1,301	28	
	23年見通し	1,000	35		
概要	長野、愛知、北海道から入荷。今年は夏場の集中出荷が昨年よりも少なく、長く続く出荷が多いが、全体的に彼岸明けから菊類の減少により相場が上がり、ブライダル系も強い。県内の出だしが順調であり、11月はそこそこに荷物もあり、品薄感は和らぐ。				
か す み	実 績	19年	215	74	
		20年	112	106	
		21年	172	65	
		22年	87	114	
		4ヶ年平均	146	84	
	23年見通し	104	103		
概要	高地、熊本、和歌山より入荷。高冷地は終了し、山地産に移行し、前半から徐々に増えてくる。業務中心で価格はやや弱めの動き。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	19年	581	128	
		20年	330	164	
		21年	369	147	
		22年	258	214	
	4ヶ年平均		384	155	
	23年見通し		310	190	
概要	<p>鉄砲は高知、鳥取、岐阜から入荷。少なめの入荷で価格は安定。LAは埼玉中心に高知などから入荷。入荷量はあまり多くないが、需要期でもなく、動きは悪い。OHは高知、埼玉、静岡、新潟など各地から入荷があり、苦しい展開。</p>				
洋らん	実績	19年	856	47	
		20年	396	84	
		21年	404	76	
		22年	447	74	
	4ヶ年平均		526	65	
	23年見通し		500	70	
概要	<p>愛知、鹿児島、高地、徳島等国産に加え、輸入物が入荷。シンピジュームは例年のように国産品が増え始める。気候的に安定していることもあり、市況はラン系は全般的に保合基調と予想される。</p>				
ばら	実績	19年	2,006	43	
		20年	937	80	
		21年	997	80	
		22年	844	77	
	4ヶ年平均		1,196	64	
	23年見通し		924	70	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山、静岡から入荷。主力は暖地産となり、入荷も順調な見込み。品質も向上し、販売も堅調な見込み。業務需要はやや落ち着きそう。</p>				
枝も	実績	19年	1,851	38	
		20年	1,473	43	
		21年	1,420	42	
		22年	1,495	41	
	4ヶ年平均		1,560	41	
	23年見通し		1,600	42	
概要	<p>静岡、長野、岐阜等の産地が中心として入荷。秋物から冬物へ時節を演出する物へと変わっていく。稽古需要も少なく、同じ物が集中すると苦しい展開になりそう。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	18年	17,416	919	
		19年	20,345	733	
		20年	16,277	656	
		21年	16,955	650	
		22年	14,576	576	
	5ヶ年平均		17,114	713	
	23年見通し		14,000	500	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。耐寒性のあるグローカル、ストリクタ、ヒロバドラセナ等が多く入荷する。ユッカは生産減のため入荷減。耐寒性のあるドラセナ類で観葉全体の価格の底上げを計りたい。</p> <p>昨年の11月の主要県の入荷量(金額ベース)は、1位愛知県(58.8%)、2位鹿児島県(16.1%)、3位沖縄県(11.9%)となっている。</p>				
シャコバサボテン	実績	18年	57,462	420	
		19年	67,382	395	
		20年	49,610	375	
		21年	41,780	408	
		22年	63,101	418	
	5ヶ年平均		55,867	404	
	23年見通し		63,000	400	
概要	<p>今シーズンは盆明けの早出しより苦戦きみ。9月は関東物の入荷が主であったが、10月より知多産へ移行している。この月は予約相対品が主でありセリ品は少なそう。ただ、セリ品は厳しい単価となりそう。</p> <p>昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(80.3%)、2位埼玉県(14.8%)、3位茨城県(3.9%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	18年	1,025,528	270	
		19年	848,807	318	
		20年	793,405	315	
		21年	837,794	300	
		22年	928,898	294	
	5ヶ年平均		886,886	298	
	23年見通し		940,000	280	
概要	<p>残暑の影響がないため、順調に生長しているのので、入荷量は増加か。(5号鉢は昨年並み。4号鉢は増加。)入荷ピークは中旬頃。</p> <p>昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(37.6%)、2位長野県(26.2%)、3位北海道(5.8%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	18年	70,189	2,604	
		19年	67,669	2,701	
		20年	60,803	2,400	
		21年	66,856	2,300	
		22年	53,025	2,548	
	5ヶ年平均	63,708	2,513		
	23年見通し	53,000	2,500		
概要	<p>残暑の影響がないため、早生種は順調に生長しているため、入荷量は微増か。晩生種は、原油高騰で春(4~5月頃)に追い焚きが出来ず、生長が遅れているため、入荷量は微減か。</p> <p>昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(51.9%)、2位徳島県(10.3%)、3位高知県(8.0%)となっている。</p>				
カランコエ	実績	18年	50,297	180	
		19年	45,077	195	
		20年	41,379	174	
		21年	53,539	170	
		22年	45,425	203	
	5ヶ年平均	47,143	184		
	23年見通し	45,000	190		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。2.5号~6号鉢で順調に入荷しそう。新品種等の入荷で全体の価格の底上げを図りたい。</p> <p>昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位岐阜県(48.7%)、2位埼玉県(40.8%)、3位茨城県(4.5%)となっている。</p>				
パンジー	実績	18年	1,411,924	36	
		19年	1,282,495	49	
		20年	1,140,460	41	
		21年	1,137,161	41	
		22年	1,038,827	53	
	5ヶ年平均	1,202,173	44		
	23年見通し	1,100,000	40		
概要	<p>残暑の影響がないため、順調に生長しているため、入荷量は増加か。月前半は花付き良品は多そうだが、後半は減少か。</p> <p>昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(49.9%)、2位奈良県(14.7%)、3位三重県(11.6%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2011年)

1 輸入実績

品名	8月						8月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	50,394	114.8	5,487,465	110.4	109	96.2	565,370	1,519	50,243,228	1,088	89	71.6
トマト	320	139.8	90,345	153.0	283	109.4	1,555	558	467,029	706	300	126.5
たまねぎ	21,875	128.8	631,776	110.1	29	85.5	243,975	1,467	10,201,064	1,575	42	107.3
にんにく	2,668	131.5	386,250	81.9	145	62.3	12,722	663	2,522,026	1,005	198	151.4
ねぎ	4,920	117.0	552,546	147.1	112	125.7	35,112	1,265	3,112,678	869	89	68.7
ブロッコリー	3,602	91.7	514,996	92.6	143	101.0	22,398	663	3,653,631	712	163	107.4
結球キャベツ	986	99.9	29,164	93.3	30	93.4	21,808	7,763	710,783	5,077	33	65.4
にんじん・かぶ	6,696	88.4	324,107	122.0	48	138.0	56,552	1,243	2,715,928	1,063	48	85.6
ごぼう	3,869	124.6	201,162	126.1	52	101.2	28,561	971	2,406,301	1,597	84	164.5
えんどう	133	258.1	43,683	328.0	327	127.1	1,407	2,584	400,411	2,794	285	108.1
アスパラガス	189	114.8	108,198	119.1	572	103.8	7,776	4,174	3,747,299	3,168	482	75.9
まつたけ	338	76.6	1,170,366	100.3	3,459	131.0	446	88	1,578,077	130	3,535	148.7
しいたけ	165	100.4	42,623	103.4	259	103.0	3,048	2,840	791,335	2,846	260	100.2
かぼちゃ	355	197.8	29,785	214.3	84	108.3	89,458	43,618	5,660,112	30,834	63	70.7
果実(生鮮・乾燥)	164,986	110.7	19,380,606	117.7	117	106.2	1,333,536	866	156,353,802	912	117	105.2
バナナ	88,337	100.8	6,450,997	107.5	73	106.7	729,664	770	50,730,981	669	70	86.9
パイナップル	15,427	131.8	909,346	130.6	59	99.1	107,177	882	6,362,482	816	59	92.4
レモン	8,672	139.2	777,947	127.5	90	91.6	38,386	776	3,998,475	812	104	104.6
オレンジ	11,584	135.6	1,018,728	134.5	88	99.2	96,517	1,127	8,989,122	1,081	93	95.8
グレープフルーツ	13,165	128.6	867,700	134.7	66	104.7	136,256	1,029	11,251,027	1,382	83	134.4
メロン	1,857	89.2	163,632	96.9	88	108.5	22,993	1,366	2,354,589	1,868	102	136.7
ぶどう	308	223.6	73,707	217.1	239	97.1	8,753	5,878	1,508,050	3,918	172	66.6
キウイ	10,883	117.8	3,275,322	118.6	301	100.6	52,236	698	16,309,381	714	312	102.2
いちご	576	112.7	460,832	109.3	801	97.0	1,445	261	1,165,443	236	807	90.6
切花(生鮮・乾燥)	4,783	102.1	3,293,520	100.4	689	98.3	26,580	678	18,637,380	648	701	95.6
鳥獣肉類	166,243	106.5	70,491,472	106.5	424	100.0	1,237,065	1,033	539,102,396	1,024	436	99.1
牛肉(くず肉含む)	47,217	104.0	18,096,925	101.2	383	97.3	336,262	864	138,948,545	875	413	101.2
豚肉(くず肉含む)	63,674	95.8	33,407,542	95.8	525	100.0	518,735	986	272,046,102	986	524	100.0
鶏肉	47,501	129.8	14,066,780	162.0	296	124.8	319,847	1,469	88,812,276	1,874	278	127.6
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	146,919	101.1	88,992,206	105.2	606	104.1	1,127,038	848	619,233,208	844	549	99.4
まぐろ類	2,179	10.8	316,308	1.9	145	17.9	100,173	540	83,954,696	577	838	106.9
さば・さんま・あじ・いわし	3,704	90.9	592,773	81.8	160	90.0	46,919	1,182	7,655,237	1,337	163	113.1

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	369	115.5	279,000	112.1	756	97.0	11,201	1,878	3,875,785	1,078	346	57.4
うんしゅうみかん	10	239.1	12,704	253.1	1,337	105.9	158	3,248	109,946	2,230	695	68.6
りんご	72	129.8	31,895	116.2	443	89.6	10,288	5,538	3,049,184	4,303	296	77.7
なし	100	672.5	52,545	637.5	523	94.8	122	119	61,295	133	504	111.3
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	121,454	66.0	-	-	-	-	1,279,142	665	-	-
緑茶	197	106.7	388,843	112.4	1,977	105.4	1,628	913	3,150,245	1,077	1,936	117.9

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100) (愛知県 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	23年 4月	99.9	96.7	97.2	100.4	100.1
	5月	99.9	89.1	101.1	100.0	99.8
	6月	99.7	93.5	100.9	100.0	100.0
	7月	99.7	95.1	99.9	99.7	100.8
	8月	99.9	93.4	101.3	99.6	101.9
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	23年 4月	99.7	98.0	98.9	103.3	101.5
	5月	99.6	92.1	102.9	101.7	100.1
	6月	99.7	97.4	100.1	103.5	102.7
	7月	99.6	96.2	103.3	101.6	103.7
	8月	99.7	93.4	102.5	102.8	104.4

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
22年平均	22年平均	95.7	98.0	100.7	91.5	98.5
	23年 4月	95.6	86.0	92.0	81.1	103.4
	5月	92.6	86.4	88.2	91.3	103.6
	6月	95.7	86.4	108.3	105.1	103.5
	7月	98.8	86.3	111.9	151.9	101.9
	8月	91.7	86.8	92.5	105.8	101.6

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
22年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
23年 4月	1,777	162	266	577	409	484	158	489	287	386	511	156	467
5月	1,809	125	200	595	279	430	127	400	267	398	499	164	516
6月	1,797	109	194	651	338	401	145	332	204	514	504	172	502
7月	1,812	172	175	675	288	329	152	329	175	537	628	167	516
8月	1,828	106	161	693	308	297	141	354	195	491	566	164	-
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1本	100g	1本	100g	100g	100g	100g
22年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
23年 4月	-	307	378	119	230	878	552	145	156	302	222	851	405
5月	-	283	344	130	227	795	551	168	156	307	218	855	407
6月	-	280	354	-	224	733	544	143	159	293	233	818	411
7月	-	278	354	-	219	800	541	146	161	287	224	835	453
8月	-	285	383	-	226	798	542	155	173	294	230	853	436

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 461
平成23年11月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417